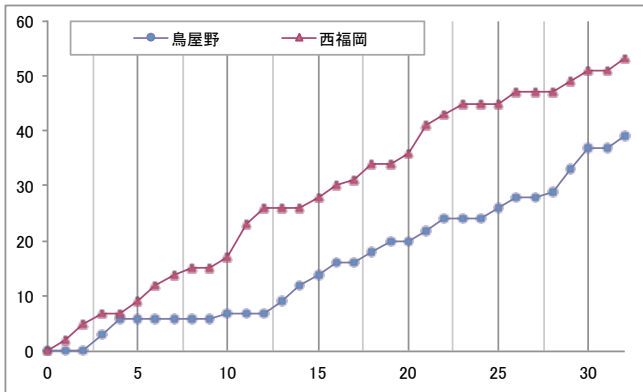




大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会																
会場	福井市体育館																
日時	2016年8月24日(水)	14:30															
コート	F Aコート 第4試合																
カテゴリー	男 決勝トーナメント2回戦																
主審	斎藤 貴嗣																
副審	青山 宜正																
TEAM A		TEAM B															
鳥屋野 (新潟)	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>10</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>8</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>15</td><td>4th</td><td>8</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	6	1st	15	10	2nd	15	8	3rd	15	15	4th	8	-			53 ○ (福岡)
6	1st	15															
10	2nd	15															
8	3rd	15															
15	4th	8															
-																	
		西福岡 (福岡)															

得点経過



BOXスコア

TEAM A		鳥屋野						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	吉川 瑠(CAP)	×	12	0	6	0	3	
5	青山 海斗	×	6	2	0	0	0	
6	大場 友裕	×	3	0	0	3	0	
7	丸山 宇宙	/	9	0	3	3	2	
8	五十嵐 力斗	DNP	0	0	0	0	0	
9	中川 諒	DNP	0	0	0	0	0	
10	板倉 輝成	DNP	0	0	0	0	0	
11	本間 志悠	DNP	0	0	0	0	0	
12	古山 貴斗	DNP	0	0	0	0	0	
13	渡辺 侑空	DNP	0	0	0	0	0	
14	小川 敦也	×	2	0	1	0	0	
15	成澤 頼	×	2	0	1	0	1	
16	品田 真吾	/	5	1	1	0	0	
17	山崎 悠真	DNP	0	0	0	0	0	
18	平岡 陸太郎	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	堀 里也							
合計			39	3	12	6	6	

TEAM B		西福岡						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	岡 龍之介	DNP	0	0	0	0	0	
5	松村 竜吾	×	11	0	5	1	4	
6	松脇 匡秀	DNP	0	0	0	0	0	
7	松本 宗志	×	10	0	5	0	2	
8	石井 大翔	DNP	0	0	0	0	0	
9	山田 楓	DNP	0	0	0	0	0	
10	原田 大和	×	7	1	2	0	2	
11	河合 志道	DNP	0	0	0	0	0	
12	平松 克樹	DNP	0	0	0	0	0	
13	松田 士弦	DNP	0	0	0	0	0	
14	小川 麻斗(CAP)	×	21	3	4	4	0	
15	荒木 泰心	DNP	0	0	0	0	0	
16	ニプラス アシフ	DNP	0	0	0	0	0	
17	水本 来	DNP	0	0	0	0	0	
18	片岡 楓瑛	×	4	0	2	0	3	
コーチ	鶴我 隆博							
合計			53	4	18	5	11	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

準々決勝となるこの試合、鳥屋野(新潟)と西福岡(福岡)の顔合わせとなった。両チームともマンツーマンDefで始まる。西福岡は#10、14、7、5とチーム全体がよく動き、スコアを重ねる。一方鳥屋野はoffリバウンドを何度も取り、#5の3Pでスコアを奪う。しかし、鳥屋野は西福岡の厳しいDefにフィニッシュが決まらない。その間に西福岡は順調にスコアを伸ばし、鳥屋野6-15西福岡で1Qを終了する。2Qに入っても鳥屋野はシュートが決まらず苦しい展開。一方で西福岡は#5、10の2P、#14の3Pで着実にスコアを重ねる。しかし、交代で入ってきた鳥屋野の#16が2P、3Pと連続して点を取り、さらには#4のレイアップシュート成功でようやく攻撃にリズムが生まれる。前半を鳥屋野16-30西福岡で終えた。

後半は互いにハーフマンツーマンDefで始まる。西福岡は前半のリズムそのままに#14、18、10とスコアを伸ばす。鳥屋野は#4、6、7のドライブを中心に攻める。インサイドを積極的に攻めファウルをもらい、残り3分32秒の西福岡のタイムアウト時には西福岡のチームファウルは4つとなる。しかし、西福岡は高い集中力を見せ、ノーファウルでしのぐ。結局3Qを西福岡はリードを広げて終了。4Q勝負を賭けた鳥屋野はドライブ攻撃を続け、#4の連続レイアップシュート成功時には、会場が大いに沸きチームに勢いを与えた。しかし、西福岡は点差と残り時間を考えた冷静な試合運びを展開し、最終的に西福岡が39-53でこの試合を制し、準決勝に進むことになった。